令和６年度厚木市市民協働推進委員会第２回会議次第

日時　令和６年 10 月３日（木）午前９時 30 分から
場所　あつぎ市民交流プラザ７階　ルーム 701
ミュージックルーム１

１　開　会

２　挨　拶

３　案　件

（１）令和７年度市民協働提案事業の第二次審査について【ルーム 701】

ア　令和７年度市民協働事業（第二次審査対象事業）　資料１

第二次審査をするのは資料に記載された７つの事業になりました。

「タンスに眠る帯や着物を活かしたリメイク活動（SDGs)」及び「『At Atsugi』よさこいで厚木の活性化・PR 事業(仮称)」につきましては、第一次審査の結果、不採択となりました。

イ　令和７年度厚木市市民協働提案事業第二次審査スケジュール　資料２

第一次審査の結果を踏まえ、スケジュールを修正しました。

ウ　提案団体への事前質問・回答　資料３

事前質問について、提案団体から回答がありましたので御報告します。

（２）第二次審査（プレゼンテーション）【ミュージックルーム１】

（３）第二次審査の結果取りまとめについて【ルーム 701】

４　閉　会

令和7年度市民協働事業（第二次審査対象事業）

資料１

No.	新規/継続	団体名	事業名	事業概要	事業費総額（円）	市負担金（円）
1	継続 （3年目）	一般社団法人あつぎ市民発電所	カーボンニュートラルあつぎ未来プロジェクト2025	2023年度にあつぎ気候市民会議で作成した脱炭素市民アクションプラン（AP）実践のため設立した、「カーボンニュートラルあつぎ未来プロジェクト（CNあつぎ未来PJ）」で脱炭素社会実現の事業を継続する。 APの普及定着活動の展開、具体的なアクションの実践及び支援、地域内外の情報交流などを通じて、2030年CO2排出半減・2050年CNの実現を目指す。進捗評価を行い、必要があればアクションプランの見直しや追加を検討する。	1,000,000	800,000
2	継続 （2年目）	あつぎ夢プロジェクト	あつぎ夢プロジェクト	すべての年齢の者に対し、自身の日頃の練習を発表する場の提供を行う。 特に高齢の方に対しては、発声等による健康維持講座や知識の習得、子どもに対しては文化・芸術への理解を深め、文化的技術の継承や新技術の習得を狙った生涯学習を行いつつ、夢と可能性のチャンスの創出や、それに伴う厚木市の知名度の向上を目的とする。	2,715,000	1,800,000
3	継続 （2年目）	一般社団法人あつぎものしり委員会	厚木かるた大会	「厚木かるた大会」を行い「あつぎのあたりまえの魅力」を市民はもちろん市外にも知るキッカケつくりをする	2,000,000	1,800,000
4	継続 （2年目）	厚木ハーモニカ委員会	ハーモニカのまち厚木	厚木市内では現在、厚木市の宝であり、ハーモニカの巨匠である故岩崎重昭氏の意思を受け継いだプロのハーモニカ奏者や「あつぎハーモニカ協会」をはじめとしたハーモニカ教室が数おおく点在しており、厚木のハーモニカにおけるスキルの高さは日本中から注目を集めている。これからの未来の子どもたち（小学生）を始めとする市民の皆さんに、このハーモニカの素晴らしさを伝承、継承するため、講演や音楽祭等を実施する。	4,200,000	1,800,000
5	継続 （2年目）	特定非営利活動法人多言語広場CELULAS	多様なことばや文化に触れる、厚木市親子多言語多文化交流事業	1、小学校での出前国際理解授業の実施―留学生や在住外国人と交流し、多言語多文化に触れることで、違いに興味を持ちどんな人とも向き合える子どもの心を育てる事業― 2、公民館等で親子が、留学生や在住外国人の国の料理やその国の遊びを一緒にしながら交流するワークショップの開催 3、外国につながりのある児童、生徒とその保護者と市民との交流を進め、多様性を認め合う豊かな地域づくりを進める	160,000	110,000
6	新規	厚木市体操協会	トップアスリートの実技指導や講話を通じて、児童の「夢」を育み、スポーツへの興味関心を高める。	障がい者児童も参加できる「楽しい体操イベント」を行い「体操の魅力を伝え、厚木からオリンピアンを輩出する」を目的として行動する。 体操を通じて子どもたちの笑顔の絶えないキラキラ輝く明るい未来を築く	1,790,000	1,490,000
7	新規	あつぎストリートフェス実行委員会	あつぎストリートフェス	厚木市では「あつぎミュージックフェスティバル」の新人シンガー発掘オーディションを実施し、若手アーティストの育成を行うなど、自治体としては全国的にも珍しく特色のある取り組みを進めている。今後より一層「音楽」が厚木市の特色の一つとして根付き、音楽関連業界への道を目指す若者たちの夢を応援するため、市と協働して、若手アーティストの路上ライブを開催する。	2,110,000	1,810,000

資料２

令和７年度厚木市市民協働提案事業
第二次審査スケジュール

１　日時　令和６年10月３日（木）午前９時30分から
２　場所　あつぎ市民交流プラザ　７階　　ミュージックルーム701
　　ミュージックルーム１
３　提案団体によるプレゼンテーション
（１）１年目の事業（10分程度）
（２）２年目以降の事業（５分程度）
（３）審査委員からの質疑（10分程度）
４ スケジュール

時　間	内　容
９：３０	第二次審査について（事前確認）【ルーム701】
９：４０	開会（第二次審査）【ミュージックルーム１】
９：４５	●カーボンニュートラルあつぎ未来プロジェクト2025 （団体名：一般社団法人あつぎ市民発電所）
１０：０５	●あつぎ夢プロジェクト （団体名：あつぎ夢プロジェクト）
１０：２５	●厚木かるた大会 （団体名：一般社団法人あつぎものしり委員会）
１０：４５	●ハーモニカのまち厚木 （団体名：厚木ハーモニカ委員会）
１１：０５	●多様なことばや文化に触れる、厚木市親子多言語多文化交流事業 （団体名：特定非営利活動法人多言語広場CELULAS）
１１：２０	休憩
１１：３０	●トップアスリートの実技指導や講話を通じて、児童の「夢」を育み、スポーツへの興味関心を高める。 （団体名：厚木市体操協会）
１１：５５	●あつぎストリートフェス （団体名：あつぎストリートフェス実行委員会）
１２：２０	休憩
１２：３０	第二次審査の結果取りまとめ【ルーム701】

※団体の入れ替え時間として５分間を見込んでいます。

資料３

提案団体への事前質問・回答

１　カーボンニュートラルあつぎ未来プロジェクト 2025

Ｑ１　４年目以降も事業を継続するため、今後の自主財源確保の具体的な方策についてどう考えていますか。

Ａ１　市民協働提案事業は 3 年間が限度であるため、4 年目以降は提案事業としてではなく、別の形で市と協働・連携して脱炭素社会実現を目指す活動を継続することになります。市からの財政援助は得られなくなるので自主財源を以下の方策で確保します。

① 一般社団法人あつぎ市民発電所の収益の一部を充てる。
② 独立行政法人地球環境基金の助成金申請や民間助成金申請を試みる。
③ 脱炭素活動の個別プロジェクトで独自に事業化できる見込みのあるプロジェクトは 2025 年度のうちに自立支援する。
④ 必要と判断する場合は、会費徴収やイベント参加を有料（参加者負担）で賄う。

Ｑ２　令和５年度の活動実績は

Ａ２　令和５年度事業実績報告書（別紙）のとおりです。

２　あつぎ夢プロジェクト

Ｑ１　４年目以降も事業を継続するため、今後の自主財源確保の具体的な方策についてどう考えていますか。

Ａ１　自主財源の確保については、引き続きスポンサーの募集や
入場料の徴収に加えて、鮎祭り等でのイベントでの出店で自主財源確保を目指します。

Ｑ２　サッカー教室やロボットプログラミングなど、新たに事業を増やした理由は。

Ａ２　増やした事業については全て子どもを対象にしており、厚木の文化人等を講師として、実際に子どもたちに体験してもらう講座を増やすことで積極的に教育に関わっていき、子どもたちの夢を見つける手助けをする機会が増えると考えたため。

３　厚木かるた大会

Ｑ１　４年目以降も事業を継続するため、今後の自主財源確保の具体的な方策についてどう考えていますか。

Ａ１　厚木かるた大会は今回で３回目になり、活動に共感してくださっている皆様よりご協賛も毎年賜っております。
今後におきましては、厚木かるた販売(市民協働は無料配布なので自主制作分)の売り上げと、ご協賛金にて厚木かるた大会を継続していく所存にありま

す。

４　ハーモニカのまち厚木

Ｑ１　４年目以降も事業を継続するため、今後の自主財源確保の具体的な方策についてどう考えていますか。

Ａ１　年に一度のハーモニカコンサートにおける収益を資金に当てていくとともに今年の協同提案事業でおこなっている小学校や公民館でのハーモニカ講習会でハーモニカに興味を持ってもらい、ハーモニカ無料講座に参加してもらう。

無料講座終了後の講座受講者は有料化。（継続にあたりの基礎的収入の確保）2001 年のアジア大会の時にハーモニカ愛好者を増やす為に、各公民館にてハーモニカのサークルを作ったように、今回も各公民館でハーモニカサークル発足を呼びかける。

その中で成果発表会や世代を超えた交流を増やしていく。

５　多様なことばや文化に触れる、厚木市親子多言語多文化交流事業

Ｑ１　４年目以降も事業を継続するため、今後の自主財源確保の具体的な方策についてどう考えていますか。

Ａ１　①　今年度の実績と成果をもって、地元企業や個人などに寄付の依頼を行う。

②　セルラスの独自事業で参加費等の収入を増やすよう取り組む

令和６年８月２３日開催した睦合西公民館の夏休み公民館講座でネパールのおやつ作りをネパール人講師と厚木市民親子で実施。

この講座に２００名以上の応募があった。

食文化を通した国際交流の可能性は大きく、事業収入につなげていけると考える。

６　トップアスリートの実技指導や講話を通じて、児童の「夢」を育み、スポーツへの興味関心を高める。

Ｑ１　４年目以降も事業を継続するため、今後の自主財源確保の具体的な方策についてどう考えていますか。

Ａ１　基本的な財源は、参加費と企業・団体様からの広告協賛及び寄付になると思います。

１年目から 3 年目までは、応援して頂ける企業・団体を積極的に募集と周知活動をしていきます。

４年目以降は、それまでの活動実績を鑑みて、同じ経費もしくは、経費を抑えて事業規模を拡大させ参加人数・企業広告協賛を募っていきます。

厚木市体操協会としては初めての提案事業になりますが、団体構成員は 2023 年と 2024 年（10 月開催予定）に事業の実績があります。

厚木市からオリンピアンを目指す子供たちの後押しや支える企業・団体を募って４年目以降も継続出来るようにしていきます。

Ｑ２　実施場所を厚木市内施設としていますが、具体的にどこを考えていますでしょうか。
Ａ２　市と調整する必要がありますが、現段階では東町スポーツセンターなどを考えています。

Ｑ３　オリンピアンを呼ぶことになっていますが、提案団体と協働するメリットはありますか。
Ａ３　団体構成員は多くの体操選手と交友関係があり、オリンピアンについても、通常より低価格で呼べるものと考えています。

Ｑ４　障がい者児童も参加できるとありますが、そのためには資格等を持った方でないと対応が難しいのではないでしょうか。
Ａ４　団体構成員はすでに障がい者児童を対象に体操教室を実施しており、その子に合わせた体験を実施することができます。

７　あつぎストリートフェス

Ｑ１　４年目以降も事業を継続するため、今後の自主財源確保の具体的な方策についてどう考えていますか。
Ａ１　採択１年目から、会場の周辺の飲食店や企業を中心に市内企業に積極的に働きかけ、３年間で様々なタイアップ企画などの計画や、協賛金を出してもらえるだけの関係性を構築します。また、協賛金とは別に、会場内に掲出する広告バナーや、予約システムやＨＰ上に広告スペースを設けるなど、広告掲載主を募集し、広告収入を獲得することで自主財源の確保を進めます。

資料３（別紙）

第８号様式（第14条関係）

厚木市市民協働事業実績報告書

2024年　４月　２６日

（宛先）厚木市長

住所又は所在地 [redacted]

団　　体　　名　一般社団法人あつぎ市民発電所

代　表　者　名　遠藤睦子

厚木市市民協働事業に係る実績を、次のとおり報告します。

１　事　　業　　名	あつぎ気候市民会議
２　提　案　の　区　分	☑市民提案型事業　　□行政提案型事業
３　提　案　年　数	☑１年目　　□２年目　　□３年目
４　事　業　概　要	2050年CO_2排出実質ゼロ（カーボンニュートラル＝以下CN）を実現するために、市民が主要担い手になる手法として「気候市民会議」を行い、市が定めるCNロードマップの具体化を目指す。実施主体の実行委員会を立ち上げる。市民会議の参加者は無作為抽出で選定する。全6回の会議（基本情報提供と討議）を経て、市民の望む2050年のイメージを描き、実現に向けて「脱炭素市民アクションプラン」をまとめ、市や市民に結果を公開し2050年CN実現に寄与する。
５　事業実施期間	2023年　4月　1日から　2024年　3月　31日まで
６　事業費総額	5,951,668　円
７　市が負担する額	2,000,000　円
８　添　付　書　類	☑ 収支決算書 ☑ 帳簿及び領収書等の写し、その他収入及び支出についての証拠書類 ☑ その他（事業実施報告、あつぎ気候市民会議報告書冊子）

厚木市 環境政策課 6.4.26 収受

第９号様式（第14条関係）

収支決算書

（収入の部）　　（単位：円）

項目		予算額 (ｱ)	決算額 (ｲ)	増減 (ｲ)-(ｱ)	摘要
市負担金(A)		2,000,000	2,000,000	0	
事業収入				0	
				0	
	小計(B)			0	
団体負担金等(C)		770,000	3,951,668	3,181,668	ラッシュジャパンより1,843,735円　地球環境基金より2,081,000円　自己資金26,933円
合計(D)=(A)+(B)+(C)		2,770,000	5,951,668	3,181,668	

（支出の部）　　（単位：円）

区分	項目	予算額 (ｱ)	決算額 (ｲ)	増減 (ｲ)-(ｱ)	摘要
支援対象経費	報償金	1,568,000	4,176,752	2608752	講師謝金、協力者謝金、実行委員報酬、会議参加市民謝礼
	人件費	192,000	456,495	264495	役員人件費
	消耗品費	100,000	174,718	74718	文具、コピー用紙、研修テキスト
	印刷製本費	400,000	548,995	148995	会議資料印刷、報告書など製本費
	使用料・賃借料	20,000	68,396	48396	会議室、駐車場、WiFiレンタル料金
	通信運搬費	340,000	402,547	62547	郵送料、通信費、Zoom契約料
	食糧費		26,400	26400	講師昼食費
	小計(a)	2,620,000	5,854,303	3234303	
支援対象外経費	人件費	150,000	20,000	△ 130000	
	保険料		77,365	77365	賠償保険料
	小計(b)	150,000	97,365	△ 52635	
合計(c)=(a)+(b)		2,770,000	5,951,668	3181668	

※　収入合計(D)と支出合計(c)は、一致すること。

あつぎ気候市民会議事業



環境政策課

事業目的

気候危機回避
豊かで暮らしやすい未来

地球温暖化対策は
待ったなしの
緊急課題
全ての人が関係者
市民の参加で
推進加速を！

脱炭素社会
カーボンニュートラルの実現

行動変容，　社会の仕組み・価値観・常識　の大転換

市民が当事者として脱炭素社会づくりを担う
「気候市民会議」を行い
少なくとも厚木市カーボンニュートラルロードマップ達成のため
「脱炭素市民アクションプラン」を提出

事業内容・成果　あつぎ気候市民会議とは

あつぎ気候市民会議

市民会議って何？

無作為抽出の市民がまちの諸課題について意見を出し合い、アクションを起こしていく場のことです。市民社会の縮図を作って**熟議**を重ねる仕組みで、「**ミニ・パブリックス**」とも呼ばれます。



「気候」市民会議って？



気候変動や脱炭素をテーマに話し合う市民会議のことです。専門家から科学的知見のレクチャーを受けながら考えを深め、**市民自らが主体**となって気候変動問題について提言をしていきます。

なぜあつぎでやったの？

厚木市では、2050年までにカーボンニュートラルを目指すことを表明し、達成までの道筋を示す「**厚木市CNロードマップ**」を2023年3月に策定しました。このロードマップを市民の立場でより深く補完し、**脱炭素で豊かな暮らしやすい環境**であり続けられるあつぎの未来をつくろうとの想いから、市民が主体のあつぎ気候市民会議を企画しました。



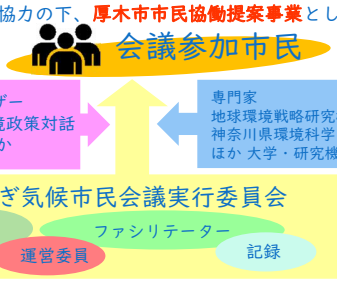
他の国や地域では？

海外では、ヨーロッパを中心に先行事例が多く、2019年から2020年にかけてフランスと英国で100人超の市民を集めて実施された気候市民会議に注目が集まりました。その後、世界各地の国や地方自治体で実施されています。
日本では2020年に札幌市で「気候市民会議さっぽろ」が、翌2021年には川崎市で「脱炭素かわさき市民会議」が開催され、その輪は全国に広まりつつあります。



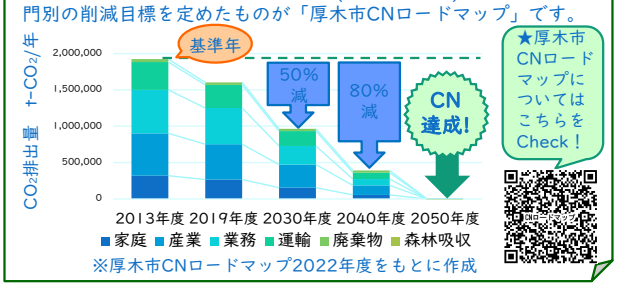
実施体制は？

一般社団法人あつぎ市民発電所が中心となって、**市民により構成**された「あつぎ気候市民会議実行委員会」を組織し、関係機関との連携･協力の下、**厚木市市民協働提案事業**として実施しました。



厚木市ＣＮ（カーボンニュートラル）ロードマップって何？

大気中に排出されるCO2と森林によるCO2吸収量等が均衡している状態をカーボンニュートラル(CN)と言います。2050年度までにカーボンニュートラルを達成するため、市内のCO2排出量を2030年度に50%減、2040年度に80%減(2013年度比)と、段階的に部門別の削減目標を定めたものが「厚木市CNロードマップ」です。

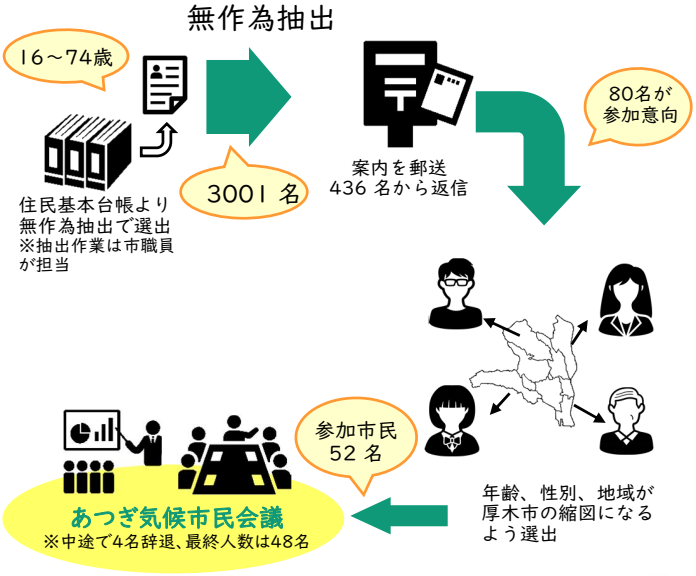


★厚木市CNロードマップについてはこちらをCheck！

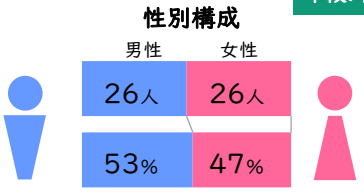
※厚木市CNロードマップ2022年度をもとに作成

参加市民について

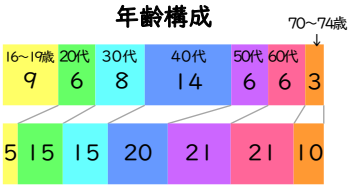
上段:参加市民(人)
下段:市 全 体 (%)



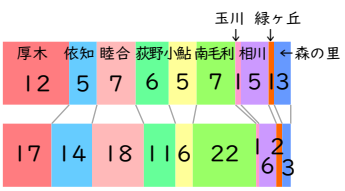
性別構成



年齢構成



地区別構成





会議進行スケジュール

キックオフイベント(4/16)
実行委員会メンバーや行政担当者、アドバイザーらが集まり、会議の目的や方向性などを共有しました。

準備期間 キックオフイベントから第1回会議までの間や、毎回の会議前にはファシリテーターによる練習会を複数回行いました。各回の事前・事後ミーティングなども、オンラインを中心に繰り返し行い、準備しました。

会議の様子



意見交換会(12/9)
全6回の会議を終えて、実行委員や参加者の垣根を越えて、ざっくばらんに交流しました

アクションプランin あつぎ完成 市長への報告(12/26)



【参加市民】最終案投票 11/29～12/3

報告書完成 冊子配布 報告会(2/17)

準備期 → 活動期 → 展開期

To Be Continued...

第1回(6/18)
オリエンテーション
専門家による講義と質疑応答
・気候変動問題の基礎
・カーボンフットプリント（CFP）
グループ討議
・講義の感想や質問
・取り組みたい脱炭素行動等を考える

第2回(7/16)
専門家による講義と質疑応答
・県内の地球温暖化
・厚木市の地域特性
・厚木市CNロードマップの理解
グループ討議
・講義の感想や質問
・脱炭素化した2050年のあつぎのイメージを描く

第3回(8/20)
専門家による講義
脱炭素への考え方の基本を知る(4テーマ)
A-1)再生可能エネルギーの地産地消
A-2)移動・まちづくり
B-1)省エネ・住まい
B-2)食・環境・健康・廃棄
グループ討議
・アクションプランに取り入れたいこと、課題等を話し合う

第4回(9/17)
情報提供(分科会)
<A分科会>
・再生可能エネルギーの地産地消
・移動・まちづくり
<B分科会>
・省エネ・住まい
・食・環境・健康・廃棄
グループ討議(分科会)
・情報提供を受け、アクションプランを出し合う

第5回(10/15)
シンポジウム(全体)
・普及啓発をどのように進めるか



グループ討議(分科会)
・アクションプランを深め、原案を作る

第6回(11/26)
グループ討議
・原案をもとにアクションプラン最終案を完成させる
マイアクションプランの発表

【宿題:参加市民】「じぶんごとプラネット」で自分のCFP量を調べる

【実行委員会】アクションプラン枠組み作成

【実行委員会】アクションプラン素案作成

【実行委員会】アクションプラン原案作成

【参加市民】予備投票

あつぎ気候市民会議

成果　脱炭素市民アクションプラン in あつぎ　since 2023

あつぎ気候市民会議

再生可能エネルギーの地産地消　18項目

1. 太陽光発電を中心とした再生可能エネルギーの導入
 - 太陽光発電導入促進の事業体形成
 - 戸建て住宅への太陽光パネルと蓄電池の設置
 - 新築住宅への太陽光パネル設置義務化
 - 集合住宅への太陽光パネルと蓄電池の設置
 - 公共施設への先行的な設置
 - 企業・事業者への太陽光パネル設置
 - 大学への太陽光パネル設置
 - 学校への太陽光パネル設置
 - 店舗への太陽光パネル設置
 - 農地へのソーラーシェアリング普及
 - 新技術の積極的な導入
 - 大規模設置計画の規制
2. 多様な再エネ導入、熱利用
 - 小水力発電の可能性検討
 - ごみおよびバイオマス利用
 - 太陽熱や廃熱利用
3. 再エネの地産地消実現と地域エネルギーマネジメントシステム構築
 - 地域新電力創設に向けた取り組み
 - 地域エネルギーマネジメントシステム構築
 - 地域内自家消費拡大と災害レジリエンス向上

移動・まちづくり　18項目

1. コンパクトシティの形成
 - コンパクトシティ形成に向けた市民の取り組み
 - 心地よいまちづくり
 - 駅周辺マイカー乗入れ制限
2. 公共交通を充実し、自家用車に頼らないまち
 - 公共交通利用促進
 - バスの EV 化促進
 - 将来的な公共交通
 - 市民のガソリン車使用削減
3. 電気自動車=EV の普及
 - EV の普及促進
 - EV 充電器設備の拡充
 - 公用車の EV 化＆カーシェアリング
4. 自転車を利用しやすいまち
 - 近距離の移動は車から自転車へ
 - 自転車利用にインセンティブを付与
 - 自転車等のマナーアップ
 - シェアサイクルの拡充
5. 新しい移動手段やサービスの導入
 - MaaS 活用
 - CO2排出のない移動手段
 - コミュニティ交通
6. ゼロカーボン宅配サービスの利用
 - ゼロカーボン宅配



住まい・省エネ　11項目

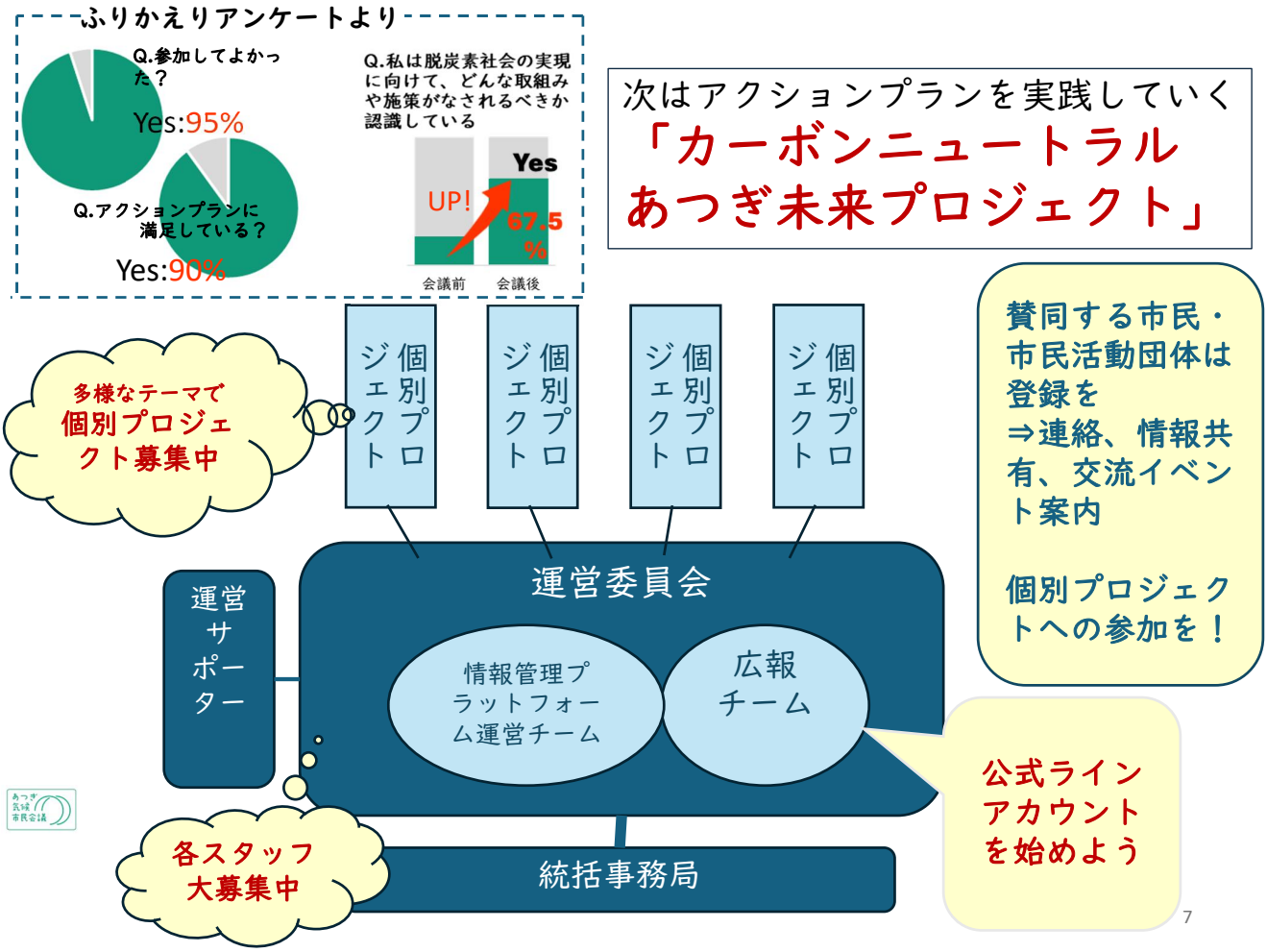
1. 住まいの断熱による省エネと健康の増進
 - 新築住宅は ZEH、新築集合住宅は高断熱化
 - 既存住宅の断熱リフォーム
 - 窓の断熱
 - 学校教室の 断熱リフォームの DIY
 - 住まいの断熱の重要性普及
2. 家庭で購入している電気を再エネの電源構成比率の高い電気に切り替える
 - 再エネ比率の高い電力会社への切換え
3. 家庭での脱炭素ライフスタイルの実践
 - 省エネ家電の普及促進
 - 住宅のエネルギー源転換
 - 健康的な脱炭素ライフスタイル
4. 公共施設の省エネと活用
 - 公共施設・事業所の ZEB 化
 - クールシェア・ウォームシェア

脱炭素市民アクションプラン実践取り組み　6項目

1. 市民協働の継続
 - 脱炭素市民アクションプランの普及
 - 市民協働の連携体制構築
2. 市内関係者との連携
 - 学校との協働
 - 市民向け普及活動
 - 多様な主体との連携
 - 市民の積極的な参加

消費・食・農・廃棄　21項目

1. 大量生産・大量消費の見直し、価値観の転換
 - 適量消費・エシカル消費
 - カーボンフットプリント表示
 - リユース促進
 - リユースショップ活用
 - 環境倫理の見直し
2. 廃棄物を減らし、資源循環を進める
 - リサイクル・廃棄物削減
 - 生ごみの堆肥化
 - 食品ロス削減
 - フードバンクの活用
 - プラスチック廃棄物の分別リサイクル
 - 使い捨てプラスチック容器削減
 - PET ボトル使用削減
 - 給水スポットの設置
 - 紙おむつリサイクル
3. 健康を支える食と農業
 - カーボンフットプリントの低い食生活
 - 地産地消農産品の普及
 - 規格外野菜の消費
 - 学校給食等で地場産のオーガニック食材活用
 - 食育・体験学習
 - オーガニックや環境再生型農業を推進
 - 農業生産者と市民の交流



収支決算

	項目	決算額	内容
収入	市負担金	2,000,000	
	団体負担金	3,951,668	助成金：ラッシュジャパンより1,849,851 地球環境基金より 2,081,000 自己資金 26,933
	合計	5,951,668	
支出（支援対象経費）	報償金	4,176,752	講師謝金、情報提供者謝金、アドバイザー謝金、実行委員会スタッフ報酬、会議参加市民参加謝礼
	人件費	456,495	主催者役員人件費
	消耗品費	174,718	文具、コピー用紙など
	印刷製本費	548,995	会議資料印刷、報告書冊子・報告書パンフレットの印刷製本
	使用料	68,396	会議室など
	通信運搬費	402,547	郵送費、通信費
	食糧費	26,400	講師昼食費
	小計	5,854,303	
（支援対象外）	保険料等	97,365	賠償保険料、一部人件費
	支出合計	5,951,668	

会議風景





第2回会議
2023.07.16

第1回会議
2023.06.18

あつぎ気候会議

あつぎ気候市民会議　最終回　2023年11月26日

